



主題講演

「人と人のつながり」

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい

ローマ12:15

講師 キリスト教カウンセリングセンター理事長
賀来周一

日頃教会という人間集団(社会的意味で)の中で、どのような人間関係がなければならぬかを考えてきましたから、そのような観点から話しをさせていただこうと思っています。

いわゆる「生きづらさ」を抱えた人も教会には来るといふことも考慮にいれた話しとなるかと思えます。

教会を社会的に見れば、まことに希有とも言うべき集団と言わねばなりません。年齢、性別を問わず、初めて礼拝に出席した人もいれば、何十年も教会に連なっている人もいます。職業も、性格も、趣味も、見識も、それぞれちがう人たちの集まりです。病気でであろうと健康であろうと、障がいを持つ人も健常者も、金持ちであろうと貧乏であろうと、すべての人を迎える集団が教会です。その教会にわたしたちは自分の生き死にを預けているのです。

しかし、このわたしたちの集団が、「キリストのからだ」、「神の民」とされているのも事実です。また、このような人間の集団を「キリストのからだ」、「神の民」として証しするのもわたしたちなのです。これをわたしたちの課題として見つめ、かつその実現への道筋を<人と人のつながり>の中にご一緒に探って行きたいと思えます。

[プロフィール]

賀来周一略歴

1931年福岡県生まれ。鹿児島大学、立教大学大学院、日本ルーテル神学校、米国トリニティー・ルーテル神学校卒業。日本福音ルーテル教会牧師として諸教会を牧会。ルーテル学院大学教授を経て、現在キリスト教カウンセリングセンター理事長。

著書 「新版・実用聖書名言録」、「新装増補版・クリスマスの風景」、「新版・サンタクロースの謎」、「365日の聖書」、「キリスト教カウンセリングの本質とその役割」(以上キリスト新聞社)、「聖書におけるスピリチュアリティ・スピリチュアルケア」(共著キリスト新聞社)、「現代キリスト教カウンセリング」、「日本の教会と魂への配慮」(以上共著日本キリスト教団出版局)、「いやしから救いへ」(共著新教出版社)、「心を病む人と生きる教会」(共著オリエンス宗教研究所)他多数。